

愛知スキー協通信 No.317

発行：新日本スポーツ連盟 愛知スキー協会

2021年7月1日

〒460-0011 名古屋市中区大須 1-23-13 TEL052-201-4801 (Fax 共)

e-mail: aichiskikyokai@yahoo.co.jp

http://aichiskykyou.yukigesho.com/



編集：直滑降スキークラブ

愛知スキー協通信は「会員の必要なものに」

文責 愛知スキー協理事長・技術部長兼任 寺田 康男

(みんなで、一つ上の指導員を目指そうプロジェクトメンバー)

一方通行の報告は極力簡潔に、過去の出来事より未来の選択に関わる情報を優先していきたいと思っています。



6月号通信のように、今話し合っている内容の文章には、意見をくださる人が、出て来ました。タイミングが合えば、役員会議や理事会で反映していきます。「要求の文章の中に、安全の文字が出てこないのは、おかしい」「スキー協らしさと抽象的な言葉を安易に使っていないか？」に対しては、総会議案書に反映しました。

6月13日にZoomで全国総会が開かれ、全国常任理事として寺田康男が東海ブロック代表として選出されました。詳しくは全国通信やホームページを参照ください。

東海ブロック総会をZoom会議で7月17日 or 18日 19:30~21:30 開催予定です。代議員は、各県5名となっていますが、希望者は、傍聴可能です。寺田康男に問い合わせください。

携帯アドレス tera-.ski@docomo.ne.jp パソコンアドレス yasuhiromi@mta.biglobe.ne.jp

技術論の問題です

人形ですが、ストックを突かずして自立しています。

この人形の右太腿を外旋させるだけで転倒しますが、何故か？ 考えてみてください。

当然バランスが崩れるからですが、この状態で保たせているバランスがどうして、右太腿を捻るだけで、何が、どう変わるのでしょうか？

人形ですがスキーヤーです。スキーヤーがやりがちなミスです。どう保たれている何が、崩れるの？ スッキリ簡潔に説明してください！



愛知スキー協会が所属する全国勤労者スキー協議会は、民主的スポーツ組織である新日本スポーツ連盟に加盟しています。その新日本スポーツ連盟は「スポーツ組織の自律」を重視するスポーツ団体として、3月20日に「東京オリンピックは“開催ありき”の準備ではなく、国民の声に応えうる方針への再考を求める」との声明を発表し、IOC、組織委員会、東京都、JOCは国民の声に応えることを求めました。

しかしその後の状況から、このまま大会を開催することは、オリンピック運動の歴史に禍根を残すことになると考え、組織委員会、東京都、JOCはIOCに対して東京オリンピック中止を決議するよう求める声明を、新日本スポーツ連盟全国連盟・東京都連盟の連名で発表しました（新日本スポーツ連盟のホームページより抜粋・全文はホームページを参照ください）。

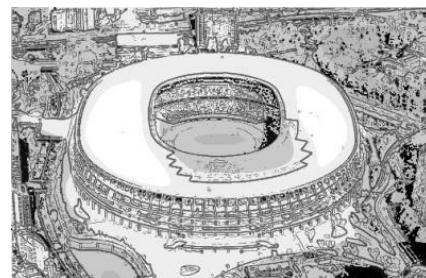
新日本スポーツ連盟 東京オリンピック中止 🔍 検索

組織委員会、東京都、JOC は IOC に対して 東京オリンピック中止を決議するよう求めます

2021年5月17日 新日本スポーツ連盟全国連盟

新日本スポーツ連盟東京都連盟

新日本スポーツ連盟は「スポーツ組織の自律」を重視するスポーツ団体として、3月20日に「東京オリンピックは“開催ありき”の準備ではなく、国民の声に応えうる方針への再考を求める」との声明を発表し、IOC、組織委員会、東京都、JOCは国民の声に応えることを求めました。しかし私たちは、その後の日本および世界各国での新型コロナウイルス感染状況、さらに聖火リレーもテスト大会も満足に開催できず、しかも大会期間中の感染予防対策についての科学的で責任ある説明もない現状を熟慮したとき、東京オリンピックを開催することはあまりに無責任であると考え、組織委員会、東京都、JOCがIOCに対して今夏の東京オリンピック中止を決議するよう求める必要がある、という判断に至りました。このまま大会を開催することは、オリンピック運動の歴史に禍根を残すことになると考えてのことです。



感染拡大と医療体制不備の現状では安心・安全な大会は開けない



4月末現在、日本ではイギリス型の変異ウイルスが感染拡大の主要因となって第4波が到来しており、大阪では医療崩壊が起きています。第4波が到来している感染状況のもとでは判断ができないとして、組織委員会の橋本会長は国内観客の入場制限についての判断を6月まで先送りし、さらに「ギリギリの判断として無観客という覚悟を持っている」ことも示唆しました。

政府、東京都、組織委員会は、新型コロナウイルス対策を一元的に担う「感染症対策センター」を設置することを決めています。上記のような競技者、大会関係者、国内観客への感染予防対策のための医療関係者の配置が、現在の日本のコロナ感染拡大の中で可能なのでしょうか。現在、2度のワクチン接種を終えた医療従事者が24%程度で、国民全体では4%です（5月時

点)。あまりに遅れた日本でのワクチン接種状況をしっかりと理解すべきです。安全、安心な大会の開催とはほど遠い状況にあります。

参加競技者の決意とオリンピックの意義を重視すべき

日本国内で「再延長」と「中止すべき」が、70%を超える世論が高まる中で、参加競技者は以下のような発言をしています。新谷仁美さん（陸上長距離）は「アスリートだけがやりたいというのは私の中で違うと思う。国民の皆さんがやりたくないと言っていたら、開催する意味がなくなってしまう」、奥原希望さん（バドミントン）は「開催、中止どちらの可能性もあると覚悟しています。後ろ向きな気持ちになりがちな今だからこそ、さまざまな立場の人に寄り添いながらポジティブに考えることが大切だと思います」と述べています。

新谷さんや奥原さんの決意は、4年に一度のオリンピックに向けて全精力を傾けて練習・トレーニングをしてきた中での苦渋の選択だったと思いますが、しかし彼女らの言葉にはオリンピックの意義が集約されていると考えます。

私たち新日本スポーツ連盟は、参加競技者の努力とパフォーマンスに対して、スポーツ団体として最大限の敬意を表するものですが、オリンピックにあっては、安全・安心、平和な社会の中でこそ競技者が輝き、感動を生むのです。

以上の諸点を考慮した上で、私たち新日本スポーツ連盟と東京都連盟は、組織委員会、東京都、JOCが国内外の市民の声、競技者の声に耳を傾け、人類の生命を第一として、今夏の東京オリンピックの中止決定をIOCに対して要請するよう求めます。オリンピック運動に取り返しのつかない傷跡を残さないために必要だと考えます。



2021夏の冒険学校

通称（海の冒険学校・海冒）

8月11日(水)～8月15日(日)

潮岬青少年の家

昨年コロナ禍で中止した海冒です。全く予約できなかった潮岬青少年の家を冒険学校を企画運営してきた金子健二さんが予約してくれました。5年間待ち望んだ場所です。交通の便も良くなり思ったより早く行けると思います。透き通った海のシュノーケリング（写真は鳥羽全然透明度が違います）、古座川のカヌー川下りもできると思います。部分参加も可能です。テントでなく本館宿舎です。自然をいっぱい堪能できます。大人も子供も参加できます。ぜひ参加ください。

問い合わせは澤田安利（090-2180-8644）まで。



深雪スキークラブの総会が行われましたので、報告します。(議事録より抜粋)

深雪スキークラブは、2021年6月20日(日)、20名が参加し、中には遠く静岡県伊豆市からかけつけた会員、新しく入会した会員と楽しく交流も出来、有意義な総会になりました。会長挨拶と来賓(寺田理事長)の挨拶より始まり、第42期活動報告・会計報告・第42期会計監査報告及び第43期活動方針の報告があり、参加者による討論が行われました。内容については以下の通りです。

①怪我をさせた時など必要なので、賠償保険に入りたい。保険会社を斡旋してほしい。

→スタッフ会議で検討する。

→今年度ケガをした人は全国に報告するので書類を提出してください。

②会計報告について

会報「みゆき」の送料だけではなく、封筒代がかかっているが、計上されていない。

→封筒はスキー協にたくさんあるので、それを使ってもらいたい。

→節約についてはいろいろ工夫して出費を抑えてほしい。例えば、家で余っている切手があれば寄付してもらおうなど。宅急便(メール便等)で送ると少し安い。

→スキーメイトを増やそうという意見が出されたが、スキーメイトを増やしてもクラブへの収入はたいして増えないと思われる。収入増にはクラブ員を増やすことが重要なのは。

③役員体制

会長 児玉さん 会計 東さん

スタッフ 浅井さん 安藤さん 岩井さん 近藤さん 澤田さん

☆最後に参加したクラブ員の近況報告などを行って終了しました。

新入クラブ員

瀬瀬さん「ほかのスキークラブに入っていたが、中心になる人がいなくなって、他のスキークラブを探していた。山歩きもしている。トレーニングとしては階段の上り(膝に悪いので下りはエレベーターで)ウォーキングなど。ウォーキングはストックを使ってやっている。できるだけスキー行事に参加したい。」

内藤さん「カーブスに週5日通っている。スノーシューがやりたい。」

その他のクラブ員

自粛生活で筋肉の衰えを感じている人が多くいました。コロナには気を付けながらも、様々な方法で身体のトレーニングをしているとの発言が多くありました。

総会が行われる前に、ヨガの体験教室を行い、軽く汗を流しました。

